

平成 21 年 1 月 28 日
パラマウントベッド株式会社
株式会社 ケアコム

転倒転落予防ソリューションを共同開発 ベッド内蔵式センサーからの患者情報をナースコールに通知

※本ニュースリリースは、パラマウントベッド株式会社と株式会社ケアコムの共同ニュースリリースです。

パラマウントベッド株式会社(本社:東京都江東区、社長:木村 憲司、以下「パラマウントベッド」)と株式会社ケアコム(本社:東京都調布市、社長:池川充洋、以下「ケアコム」)は、ベッド内蔵センサーとナースコールのシステム連携による転倒転落予防ソリューションを本年 1 月 30 日より販売開始いたします。

本ソリューションは、パラマウントベッドのベッド内蔵式センサー「離床CATCH」とケアコムの患者情報を一元管理する「インテリジェントナースコールNICSS」との高度なシステム連携を実現しました。これにより、転倒転落リスクの高い患者の在床・離床の把握がナースステーションで可能になり、さらには患者が離床動作に入った際には、その患者の氏名・部屋番号・ベッド番号が、看護師の持つPHSに通知¹されます。

財団法人日本医療機能評価機構の発表(医療事故情報収集等事業 第15回報告書、平成 20 年 1 月～9 月)によれば医療事故に占める転倒と転落の割合は合計で24%と最も高く、医療安全向上のため注力を要する課題とされています。一方、昨今の看護師不足改善のためには、病棟業務の負荷軽減が急務とされています。

本ソリューションは、パラマウントベッドとケアコムそれぞれが有する高度なセンシング技術と情報処理技術の融合により、患者を見守り、看護師の動線を短縮することで、安全・安心の実現と病棟業務の改善に貢献します。

詳細については、別紙をご参照ください。

以上

【本ニュースリリースについてのお問合せ先】

パラマウントベッド株式会社

広報室 相子龍則・土屋正太

TEL:03-3648-1111

E-mail: s.tsuchiya@paramount.co.jp

株式会社ケアコム

企画部 企画グループ 山町匡央

TEL:03-5216-0801

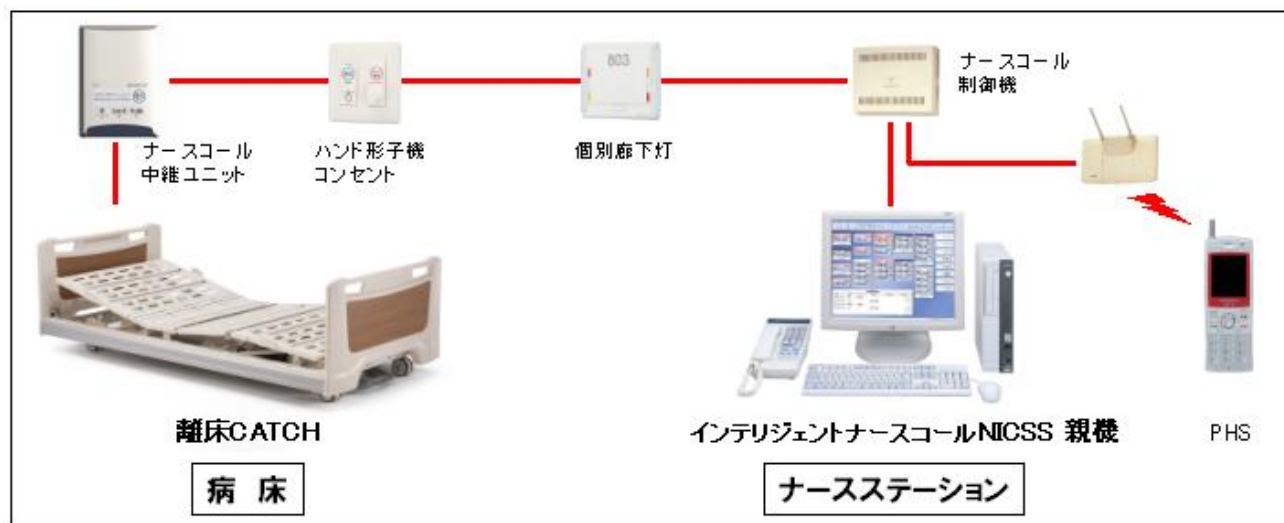
E-mail: sales@carecom.co.jp

¹ 表示内容は、PHS システム等連動するシステムの条件や設定で異なる場合があります。

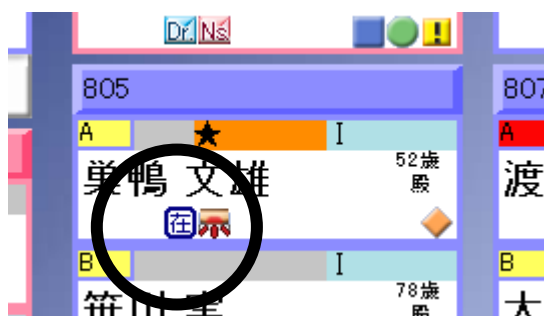
別紙1.

●転倒転落予防ソリューション

<システム構成の概略>

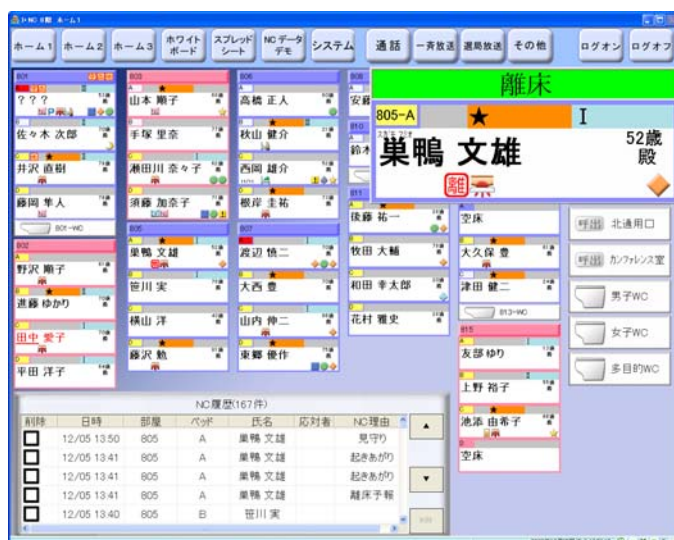


<親機モニタ画面、在床表示例(拡大図)>



アイコンにて、
在床・離床の確認が可能

<親機モニタ画面、離床アラーム通知時表示例>



離床動作をセンサーで検知し、
アラーム音とともにポップアップ画面が現れます

別紙2.

●パラマウントベッド 離床 CATCH

ベッドからの転倒・転落を予防する観点から、患者さんの動作をベッド自体が検知し、ナースステーションにお知らせすることができます。従来の外付け式センサーにおける「誤報が多い」「センサーそのものに躓いてしまう」などの問題解決につながります。

患者さんの症状に応じて「見守り・離床・離床予報・起き上がり※」の4つのモードを設定することができ、使い分けることが可能です。搭載機種は、メーティスシリーズ／6000シリーズ

※「起き上がり」は、6000シリーズ4モーターのみ

●ケアコム インテリジェントナースコール NICSS

患者さんのあらゆる情報を親機モニタ画面で一元管理しスタッフ全員で把握することが可能な、コンピューター型のナースコールシステムです。ベッドサイド子機からのデータ通信機能による患者さんを見守る情報インフラとして、また取得データの蓄積・分析機能による病棟業務改善のためのツールとして、病棟の ICT 化をリードしています。

詳細はこちら:<http://www.carecom.jp/product/medical/nursecall/item01/index.html>

●ソリューション導入について

システム連携には、パラマウントベッド製ナースコール中継ユニットの設置が必要となります。また、既設の NICSS にソリューションを導入する場合、別途、ナースステーション等での電気工事が必要です。